

# 令和4年度 1学期 学校評価

- 1 学年経営反省（1学期末）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
  - ・ 学年の重点・努力点の反省を含む。
- 2 学校経営重点項目・小中連携の共通実践事項について（教務係）・・ P 7
  - ・ アンケート結果
- 3 次学期にむけての改善策について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13
  - ・ 学年や職員全体での意見交換  
(共通理解・共通実践事項について)
- 4 校長先生より

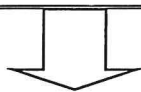
R4 7月20日(水)14:15~15:45

鹿児島市立広木小学校

## 第1学年 学年経営案

### 【学校教育目標】

自ら進んで学び、共に高め合う、心豊かなたくましい広木の子  
～大きな夢をもつ広木の子～



### 【重点指導事項】

校訓	児童像	学年共通実践事項	1学期の反省(学年)
つよい子	心身ともに健康でたくましく、 最後までがんばる子ども	(学校) (保健・体育指導) ① 安全指導の徹底 (校内での過ごし方・遊び方・登下校) ② 健康生活の習慣化 (「はちつぼねブ」・体力づくり) ③ 正しいトイレの使い方の指導 (家庭) ① 生活リズムの改善 (早寝・早起き・朝ごはん) ② 健康的な生活習慣 (歯磨きの徹底・虫歯治療・視力低下防止)	△登校中や遊んでいる中でのががが多かったが、6月に入ると、少なくなった。 ▼廊下を走らないように、繰り返し指導をした。 △ハンカチやティッシュの忘れ物は少ないが、予備のマスクや割りばしがなかった。 ○登校が早すぎる子供と遅めの子供がいる。遅めの子供たちは早く来られるようになった。 ○歯磨きはよくできている。
かしこい子	自ら課題を持ち、よく考え、 自ら学ぶ子ども	(学校) (学習指導) ① 基本的な学習のしつけ (発表の仕方・聞く態度・正しい姿勢・鉛筆の持ち方・学習準備) ② 基礎・基本の定着 (読み・書き・計算の反復指導) (家庭) ① 家庭学習の見届け・確認 (「家庭学習の手引き」の活用・音読や読書の継続) ② 学習の準備の確認 (忘れ物ゼロ)	○意欲的に発表ができるようになってきた。少し声の小さい子供たちもいるので、指導を続けている。 ▼体幹が弱く、姿勢を保てずに体が動いてしまう子供が見られ、繰り返し指導している。 ▼鉛筆の持ち方の癖が抜けず、教科書を参考に繰り返し指導している。 △ひらがなが上手に書けるようになってきているが、読み書きには個人差が見られ、繰り返し復習している。 ◎宿題の提出率は大変高く、保護者の見届けまでして下さる家庭が多い。 △教科書・ノート忘れがある。まだ保護者の確認が必要。
心豊かな子	思いやりがあり、 助け合う子ども、 礼儀正しく	(学校) (生徒指導・人権同和教育) ① 相手を尊重した言葉遣い (呼び捨てをしない・自分が言われていやなことは言わない) ② みんなのために進んで働く子ども (係活動・掃除) (家庭) ① あいさつの習慣化 (自分から・相手を見て) ② 公共のマナーの遵守 (公園等公共の場所での過ごし方)	○言葉遣いはその都度注意しているが、呼び捨てをしている子供も見られる。 △注意する口調が強くなることもあり、優しく言えるように話をしてきた。 ◎お手伝い好きで、係活動など、意欲的に頑張る子供たちが多い。 ○ほうきの使い方や雑巾の絞り方・かけ方など、上手にできるようになってきた。 ○教室に入る時の朝のあいさつなど、元氣よく言えるようになった。
留意事項	その他	(教育環境) ① 教室内外の整理整頓・清掃指導の徹底 ② 学級園・一人一鉢などへの積極的な取組	○朝顔の世話を(雨の降った翌日も水かけに行こうとするほど)進んでしている。 ○帰る前の引き出しチェックや帰る準備など、よくできるようになった。

第2学年 学年経営案

【学校教育目標】

自ら進んで学び、共に高め合う、心豊かなたくましい広木の子  
～大きな夢をもつ広木の子～

【重点指導事項】

校訓	児童像	学年共通実践事項	1学期の反省
つよい子	心身ともに健康でたくましく、最後までがんばる子ども	(学校) (保健・体育指導) ① 安全指導の徹底 (校内での過ごし方・ろうか歩行・遊具の使い方・登下校) ② 健康生活の習慣化 (「はちつぼね」・体力づくり) ③ 感染予防 (手洗い・換気・マスク着用) (家庭) ① 生活リズムの改善 (早寝・早起き) ② 健康的な生活習慣 (歯磨きの徹底・虫歯治療・視力低下防止)	○ 学級のめあてにして意識して取り組み、今後も声かけが必要である。 △ 毎週月曜日を基本に健康生活調べを実施しているが、全員揃うことが少ない。 ○ 日々努力し、意識できている。 ※登校ぎりぎりの児童が見られる。8時までの登校を呼びかける ※休みに向け、受診を呼びかける
かしこい子	自ら課題を持ち、よく考え、自ら学ぶ子ども	(学校) (学習指導) ① 基本的な学習のしつけ (発表の仕方・聞く態度・正しい姿勢・学習準備) ② 基礎・基本の定着 (読み・書き・計算の反復指導) (家庭) ① 家庭学習の見届け・確認 (「家庭学習の手引き」の活用・音読や読書の継続) ② 学習の準備の確認 (忘れ物ゼロ)	○ それぞれの場面で、表現できるようになってきている。発表の声の大きさが課題である。 △ 正しい姿勢・鉛筆の持ち方を保てない児童がいる。 ○ 漢字ノートは学年で共通した手本を使用している。漢字ドリル・計算ドリルの活用しながら定着を図っている。 ○ 音読と数読等を組み合わせながら読みの定着を図っている。 ○ 家庭学習40分を目標に、見届け・確認をいただいている。 △ 忘れ物が多く、確認の時間をとりながらメモの習慣をつけている。今後、生活ノートを活用していく予定である。
心豊かな子	思いやりがあり、礼儀正しく助け合う子ども	(学校) (生徒指導・人権同和教育) ① 相手を尊重した言葉遣い (呼び捨てをしない・自分が言われていやなことは言わない) ② みんなのために進んで働く子ども (係活動・掃除) (家庭) ① あいさつの習慣化 (自分から・相手を見て) ② 公共のマナーの遵守 (公園等公共の場所での過ごし方)	△ その時のチャンスを逃がさず、指導している。他人のいやがる言動が見られた。保護者へも連絡し、学年全体でも指導し、ひき続き指導していく。 ○ できる活動を計画している。当番活動と係活動の違いを理解させている。 △ 先手挨拶はできていないが、人数を示したり、教室へ入るときの挨拶を意識させたりしている。 ○ 下校後の遊びは帰宅時刻を守らせる。
留意事項	その他	(教育環境) ① 教室内外の整理整頓・清掃指導の徹底 (無言作業) ② 学級園・一人一鉢などへの積極的な取組 ③ 揃える指導 (くつ・かき・トイレのスリッパ等)	○ 無言作業までいかないが、教室を基準にしている。 ○ 当番活動と係活動を意識させながら取り組んでいる。自主的にできる児童を称賛しながら、学級園まで意識を持たせたい。 △ くつ・かき・スリッパその都度声をかけ、そろえさせたい。トイレのスリッパは、日直とも協力しながら取り組んでいる。

### 第3学年 学年経営案

#### 【学校教育目標】

自ら進んで学び、共に高め合う、心豊かなたくましい広木の子  
～大きな夢をもつ広木の子～

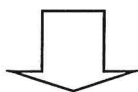
#### 【重点指導事項】

校訓	児童像	学年共通実践事項	反省
つよい子	最後までがんばる子ども 心身とも人健康でたくましく、	(学校) (保健・体育指導) ① 安全指導の徹底 (校内での過ごし方・遊び方・登下校) ② 健康生活の習慣化 (健康生活調べ・体力づくり) (家庭) ① 生活リズムの改善 (早寝・早起き) ② 健康的な生活習慣 (歯磨きの徹底・虫歯治療・視力低下防止) ③ メディアとの付き合い方のルール作り	○ 梅雨時期の室内でのルールを守って過ごしていた。 ○ マスク着用は概ねできていた。難しい子も、移動教室時や給食当番等では自ら着用を心掛けていた。 ○△概ね8時まで登校していた。身支度で遅くなる子には引き続き指導が必要である。 △ 廊下歩行の指導が引き続き必要である。 △ 爪が長い子が多い。 △ 一校一運動のなわとびを推進する。
かしこい子	自ら課題を持ち、よく考え、自ら学ぶ子ども	(学校) (学習指導) ① 基本的な学習のしつけ (発表の仕方・聞く態度・正しい姿勢・忘れ物0・学習準備) ② 基礎・基本の定着 (読み・書き・計算の指導, 思考力・判断力・表現力の向上) (家庭) ① 家庭学習の見届け・確認 (「家庭学習の手引き」の活用・音読や読書の継続) ② 学習の準備の確認 (忘れ物ゼロ)	△ 2分前着席・1分前黙想の習慣化がもう少しである。時計を見る声掛けが必要である。 ○△家庭学習の取組やミニテスト等を実施し、定着を図った。個人差があるが、反復指導は引き続き続けていく。 ○△マスク着用により、あいさつや反応が小さくなっている。頷きながら話を聞く(反応をする)指導を行った。 △ 忘れ物や落とし物が多い。週報等で保護者への協力も呼びかける必要がある。 ○△タブレット活用の推進
心豊かな子	思いやりがあり、礼儀正しく助け合う子ども	(学校) (生徒指導・人権同和教育) ① 相手を尊重した言葉遣い (呼び捨てをしない・自分が言われていやなことは言わない) ② みんなのために進んで働く子ども (係活動・掃除・ボランティア) (家庭) ① あいさつの習慣化 (自分から・相手を見て) ② 公共のマナーの遵守 (公園等公共の場所での過ごし方)	○ 自分の役割に責任感をもって務めようとする姿が見られる。 ○ 水道場の床を自主的に拭いてくれる子たちがいる。感謝を伝えると、更に頑張ってくれる。 △ 先手あいさつや、気持ちのよいあいさつができるように意識付けさせたい。 ○△校区探検や遠足を通して公共マナーの指導を行った。実践はこれからである。
留意事項	その他	① 教室内外の整理整頓・清掃指導の徹底 (無言作業・トイレの使い方) ② 学級園・一人一鉢などへの積極的な取組 (理科と関連づけた指導)	○△協力して清掃活動に取り組む姿が見られる。無言作業は難しい。 ○ 学級園に花の苗を植えた。自らが植えた植物の成長を楽しみにしている様子が見られる。

第4学年 学年経営案

【学校教育目標】

自ら進んで学び、共に高め合う、心豊かなたくましい広木の子  
～大きな夢をもつ広木の子～



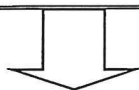
【重点指導事項】

校訓	児童像	学年共通実践事項	1学期反省
つよい子	心身ともに健康でたくましく、最後までがんばる子ども	(学校) ① 生活リズムの見直しと改善 (生活リズムカードの活用, 手洗い, うがい, 衣服の調節, 換気, トイレの正しい使い方) ② 体力づくりの推進 (一校一運動) ③ 安全指導の徹底 (不審者対応, 登下校, 遊び方) ④ 給食指導の徹底 (準備や片付け, 食事のマナー・偏食指導) (家庭) ① 視力低下を防ぐための取組 ② 生活リズム点検	○生活習慣が身につけていないことから遅刻が多かったが改善している。早寝・早起き・朝ごはん遅刻をしない生活習慣づくりを呼び掛けた。 ○外遊び・なわとび・鉄棒など体力づくりをするよう呼び掛けた。 ▲落ち着いた学校生活を送るためにも廊下歩行や階段歩行に気を付けさせたがもう一步である。 ▲すばやい給食準備や片付けはできるようになっている。残さず食べることをめざしていく。 ○ハンカチ・ティッシュ・つめの長さ・帽子着用, ネームを付ける・身なりを整えるなどのマナーが守れない子供達は少なくなってきたが声掛けが必要である。
かしこい子	自ら課題を持ち、よく考え、自ら学ぶ子ども	(学校) ① 基本的な学習のしつけの徹底 (発表の仕方, 話の聞き方) ② 意欲を高める支援の在り方 (問題提示の工夫, 個に応じた工夫) (家庭) ① 家庭学習への取組 (音読・日記・漢字・その他の課題)	○基本的な学習のきまりを守り落ち着いて学習に取り組んでいる。 ▲学習準備がしっかりとできるようメモや前日の準備を気をつけさせたが忘れ物が減らない。 ▲課題がわかるまで粘り強く取り組む姿勢や意識を高めていきたい。 ○ほとんどの子供達が宿題等を忘れず家庭学習が定着した。一部家庭との連携が必要である。 ○グループでの話し合い, 教え合いの場を確保する。
心豊かな子	思いやりがあり、礼儀正しく助け合う子ども	(学校) (生徒指導・人権同和教育) ① 基本的な生活習慣の徹底 (元気のよいあいさつ, 時間厳守) ② 個に応じたきめ細かな指導と思いやりのある仲間づくりの推進 ③ 一事徹底の励行「あいさつ」 ④ 読書に親しむ態度の育成 ⑤ 差別や偏見をなくすための適切な指導 (相手の気持ちになって行動できる児童の育成) (家庭) ① 地域の方との接し方や公共マナー等の指導 ② 親子のふれあい・コミュニケーションの充実	▲元気にあいさつができる。担任以外の先生や友達へのあいさつをさらに呼びかけたい。 ○友達のことを思いやり仲良く助け合って過ごすことができた。 ○読書量を増やしていきたい。 ○多様な考え方があることを教え、違いを認められるような集団づくりをしていく。 ▲一部の児童がルールを守らず行動していた。判断する力やがまんする力について繰り返し指導した。
留意事項	その他	(教育環境) ① 落ち着いた学習環境づくり (やる気を起こす設営の工夫) ② 清掃指導の徹底 (無言作業) ③ 学級園・一人一鉢などへの意欲的な取組 ④ ボランティア活動の推進	○適切な学習環境づくりに努めた。 ▲清掃中の無言作業への意識を高めたい。 ○学級園・植物への関心を高まっている。 ○はばたき等で計画を立てればボランティア活動を通し、ボランティアの意識を高めていくことができた。

第5学年 学年経営案

【学校教育目標】

自ら進んで学び、共に高め合う、心豊かなたくましい広木の子  
～大きな夢をもつ広木の子～



【重点指導事項】

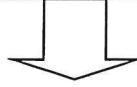
校訓	児童像	学年共通実践事項	反省
つよい子	心身ともに健康でたくましく、最後までがんばる子ども	(学校) (保健・体育指導) ① 体力の向上を図る指導 (一校一運動) ② 性に関する指導の充実 ③ 衛生・安全指導の徹底 (歯磨き, 手洗い, 交通ルール, 危険予知能力を高める言葉かけ等) (家庭) ① 衛生・安全の指導 ② 基本的生活習慣の定着 ③ メディアの利用についての確認と改善	▲運動会練習, 水泳学習と続いたため, なかなか縄跳び運動に力を入れられなかった。雨も多く, 外での運動も十分にできなかった。 ○コロナ生活で衛生意識は高まっているように感じる。(手洗い, 換気) ▲危険予知能力が十分ではなく, トラブルや軽率な言動が見られる。 ※ゲーム機器, 通信機器を使って遊んでいる。SNSの使い方が心配。
かしこい子	自ら課題を持ち、よく考え、自ら学ぶ子ども	(学校) (学習指導) ① 学習のしつけの徹底 (聞き方・学習のきまり・発表話型) ② 発表態度の育成 (1日1回以上 自分の考えを発表) ③ 友達との意見交流の場の設定 (家庭) ① 音読の習慣化 ② 家庭学習の充実 ③ 前日の学習準備	▲忘れ物が多い。(忘れものをしない手立てや準備の仕方など個人差がある) ○授業中の離席や無駄話は減った ○発表人数は増えつつある ○意見交流の場を少しずつ設定することができた。 ▲音読忘れ, 宿題忘れ, 学習道具忘れについての家庭との連携を進めたい
心豊かな子	思いやりがあり、礼儀正しく助け合う子ども	(学校) (生徒指導・人権同和教育) ① お互いを認め合う学級集団づくり ② 気持ちのよいあいさつと言葉遣いの指導 ③ 整理整頓・清掃の指導 ④ 廊下歩行・教室での過ごし方の指導 (家庭) ① あいさつ・言葉遣い・整理整頓の指導 ② 手伝い・家庭での仕事の割り当て	▲調子に乗った言動, 馴れ合いでの言動, 配慮のない言動が見られる ▲自分からあいさつできない児童 ▲外部へ, 来客へのあいさつ(会釈) ▲廊下を走ったり, 大声を出して歩いたりする児童が数名いる ▲教室前でのたむろ ▲階段を一段飛ばしで降りる児童。 ※客観的視点が乏しいのかもしれない ○家庭科の学習を実生活に生かす声かけを続けたい
留意事項	その他	(教育環境) ① 清掃指導の徹底 ② ボランティア活動の推進 ③ 落ち着いた学習環境づくり	○掃除のとりかかりが早い子がいる。 ▲時間いっぱい, 隅々までの意識 ○朝のボランティアに積極的に参加する児童が見られる。 ▲声をかけても, ほとんど朝ボラに参加できていない児童もいる。



第6学年 学年経営案

【学校教育目標】

自ら進んで学び、共に高め合う、心豊かなたくましい広木の子  
～大きな夢をもつ広木の子～



【重点指導事項】

校訓	児童像	学年共通実践事項	反省
つよい子	心身ともに健康でたくましく、最後までがんばる子ども	(学校) (保健・体育指導) ①体力の向上を図る指導 (一校一運動) ②情報端末の使用に関する指導 ③衛生安全指導の徹底 (ルールを守る意識・不審者対応)  (家庭) ①衛生安全面の指導 (健康生活調べ・歯磨きの習慣化) ②メディアの利用についての確認と改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>長縄チャレンジについては、各学級、係を決めて取り組めた。</li> <li>ロイロノートも積極的に使った。リテラシーは高まった。</li> <li>なかなかルールを守れない子が多い。ネームや廊下歩行、持ち物等、ちょっとしたきまりを守る習慣を徹底していきたい。</li> <li>メディア使用で、昼夜逆転してしまい、登校できない子が気になる。</li> </ul>
かしこい子	自ら課題を持ち、よく考え、自ら学ぶ子ども	(学校) (学習指導) ①基礎・基本の定着 ②個別指導の充実 ③学び合う場の設定  (家庭) ①音読の習慣化 ②家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の確認のためのミニテストやプリント等の実施を行った。通分や約分でつまずく子が多かった。</li> <li>休み時間に個別の指導を行った。特に算数については、個人差が大きい。昨年度のように、指導法改善の教員の配置があってほしいのだが…。</li> <li>交流の機会を多く設けた。自分の考えをしっかりとらせ、交流する習慣が身についた。</li> </ul>
心豊かな子	思いやりがあり、礼儀正しく助け合う子ども	(学校) (生徒指導・人権同和教育) ①お互いを認め合う学級集団づくり ②気持ちのよいあいさつと言葉遣いの指導 ③自律・判断力を促す生活指導  (家庭) ①基本的な生活習慣の徹底 ②公衆マナー等の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰りの会で、友達の「ありがとう」を紹介する場やみんな遊びの時間を設定し、友達同士のつながりを意識してもらった。</li> <li>あいさつについては、今後も継続して指導していく。最高学年としての気持ちの良いあいさつは、まだまだ。</li> <li>中学校を見据えた生活指導を意識して取り組んでいる。とにかく「きまりを守る」ことを当たり前にしていきたい。</li> </ul>
留意事項	その他	(教育環境) ①清掃指導の徹底 ②ボランティア活動の推進 ③落ち着いた学習環境づくり (児童のよさを生かした設営の工夫)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無言作業については、まだまだ意識が低い。しかし、ボランティアの取り組みは、定着してきた。頑張っている6年生への言葉かけをお願いしたい。</li> </ul>

## 令和4年度 学校評価 自己評価書(1学期)

### 1 学校の重点目標

- 学校経営, 学年・学級経営の充実〈生きる力を育てる教育課程の工夫・改善〉
- 豊かな学力の育成〈思考力, 判断力, 表現力等の向上を図る授業の創造〉
- 豊かな心の育成〈児童の深い理解と情報の共有化, 道徳教育の充実, 人権教育, 特別支援教育の推進〉
- 健やかな体の育成〈計画的体力づくりの推進, 学校事故・交通事故・不審者事故防止の指導徹底〉
- 教職員の資質向上〈指導力の向上, 業務改善, 職員研修の充実, 服務規律の厳正確保〉
- 環境の整備・充実〈花いっぱい, 清潔, 整理整頓〉
- 三者連携の推進〈地域に根ざした信頼ある学校〉

### 2 課題と改善策

	評価項目	4段階評価		評価結果と改善方策
		職員	前年比	
<b>I 学校経営, 学年・学級経営の充実</b>				
1	「楽しくてやりがいのある職場」	2.9	→ 0.0	・実践や課題等共通理解し, 学年経営を進めることができている。 ・今後も常に人権尊重を意識しながら学年学級経営を行っていく必要がある。
2	人事評価記録書を意識しての実践	3.2	↑ 0.1	
3	人権尊重の視点に立った学年・学級経営	3.1	→ 0.0	
<b>II 確かな学力の育成</b>				
1	学習のしつけの定着	2.8	→ 0.0	・各学年に応じた学習のしつけをさらに定着させながら, 継続的に指導を行っていく。 ・高学年では, 意見交流の場の設定を少しずつ増やすことで, 成果が上がりがつつある。
2	単元・まとめテストで80%以上の達成	2.7	↓ -0.1	
3	思考力・判断力・表現力の向上を図る授業の実践(主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善)	2.8	↑ 0.2	
4	朝読書の充実と学年別読書冊数を設定した取組	2.8	→ 0.0	
<b>III 豊かな心の育成</b>				
1	揃えることの大切さ(挨拶先手, 言葉遣い, 靴箱の靴)の指導の徹底	2.8	→ 0.0	・挨拶はあまりよくない状態が続いている。自分からの挨拶や担任以外への挨拶・会釈など個人差も大きいので継続して指導をしていく。 ・児童に問題のある行動があった場合に, 状況を共有しながら連携して指導にあたることができている。今後もこの体制を維持・進展させていきたい。
2	深い児童理解, 納得させる指導と見届け, 毅然とした指導	3.1	↑ 0.1	
3	各教科等における道徳教育, 考え議論する道徳	2.8	↓ -0.1	
4	困り感のある児童に対する共通理解, 共通実践	3.0	→ 0.0	
5	特別支援教育の推進(合理的配慮, 支援体制の充)	3.1	→ 0.0	
<b>IV 健やかな体の育成</b>				
1	教科体育の充実, 一校一運動の推進	2.8	↑ 0.3	・感染症対策と熱中症の予防が両立できるように状況に応じた指導を今後も継続していく。 ・一校一運動の縄跳びに対する子供たちの意欲が大変高まっている。
2	感染症対策の徹底, けがや病気の予防に努める指導	3.3	↑ 0.1	
3	危機意識の高揚と自己ゼロの達成	3.1	↓ -0.1	
4	食育の推進と給食指導	2.9	→ 0.0	
<b>V 教職員の資質向上</b>				
1	教育の質の維持・向上を目的とした業務改善	2.9	→ 0.0	・業務改善を継続して進め, 児童に接する時間が確保を図っていく。 ・班ごとの校内テーマ研修の充実が図られている。
2	職員研修への意欲的取組	3.1	→ 0.0	
3	服務規律の厳正確保	3.6	↓ -0.1	
4	健康管理	3.1	↓ -0.2	
<b>VI 環境の整備・充実</b>				
1	自然愛護, 生命尊重の意識高揚を図る指導	2.8	↓ -0.1	・高学年のボランティア活動が大変ありがたい。
2	整然とした学習環境	3.0	↑ 0.1	
<b>VII 三者連携の充実</b>				
1	PTAと連携した基本的な生活習慣や学習習慣の確立家読の推進, 家庭での仕事の励行	2.9	→ 0.0	・PTA, おやじの会, 50周年期成会の方々などのたくさんの活動やサポートに感謝したい。

### 3 次学期(年度)に向けての取組

- コロナ禍での教育活動も3年目となった。2年ぶりに復活させた歌声タイムの学年発表など, 対策を講じながら様々な行事を行うことができた1学期であった。1学期末にはタブレットの持ち帰りの実証実験も行うことができた。2学期はこれを検証しながらICT活用をさらに進めていく。また, 宿泊を伴う学校行事, 体力づくり, グループ活動, 学び合いなどの活動に内容や仕方を工夫しながら取り組んでいく。



## 令和4年度 1学期学校評価 記述シート

### 1 学校経営、学年・学級経営の充実

- 学年で共通理解しながら経営につとめている。
- 会議等が、4時半までに終わるので、とてもありがたい。
- 「広木の教育」の共通理解・共通実践がなされているだろうか、と考えるときがあります。
- (1)協力して学年経営がなされている。
- 職員会議でも、先生方のユーモアを忘れない話し方に、新鮮な驚きと頼もしさを感じました。評価のための仕事になるのはよくないですが、目標を設定したからには近づく努力はしています。人権に対しては十分に意識し、シングル家庭などへの配慮や、LGBTの情報共有や指導・支援につなげる努力はし続けたい。
- 概ね達成できている。
- (1) やりがいを感じている。
- (2) 意識して日々の教育活動で実践している。
- (3) 人権尊重の視点を重んじながら教育活動に従事している。”

### 2 確かな学力の育成

- 単元テストで定着するようにしているが、家庭での個人差が大きいことが課題である。
- 読書しようとする姿勢が多く見られる。
- アクティブラーニングの視点で授業を考えている。
- 学力は、家庭の事情や本人の特性などもあるので、全員が8割というのは厳しい。学校でできる対処はし続けていく。(3)について。なるべく対話が増えるような授業展開を考えているが、話好きな児童、声の大きい児童に意見が偏ることがないようにしていきたい。読書については、どの児童もわりと読書の時間を楽しんでいる土壌があり、良いことだと思うし、その雰囲気大切にしていきたい。
- (3)先日の研修で話し合われたものを2学期より実践していきたい。
- (2) 個人差があり、テストでの80%達成はできないこともあった。机間巡視や席の工夫をしながら見届ける必要がある。
- 学年で共通理解を図って進めている。
- (1) 忘れ物が多いこと・時間を守って授業にやってこないことが非常に課題であると感じている
- (2) おおむね達成している。
- (3) 向上を図るためICTを活用しながら実験を動画で撮り、共有や振り返りをしたり工夫をしている。
- (4) 専科のため、日々の読書活動の充実には全く貢献できていないが、理科室にその時々学習している植物や動物の図鑑を借りてきて設置したり、調べ学習や学習を深める際に図書の本を利用する意識づけは行っている。”
- 話を聞く態度や発表の声の大きさ等、個人差がある。

### 3 豊かな心の育成

- あいさつは人数を示したり、名前をよんで挨拶したり学年で実践している。
- アンケートにはでない事例についてどういう対応が望ましいか何度も学年で話し合いを持てた。
- あいさつについては、こちらから挨拶の声をかけても、返す児童は返す。そうでない児童は、そのまま変わらない状態のような気がします。全体的な(全学級同時の)呼びかけ及び指導が望まれます。

- 自分のしていることに鈍感で、されたことには敏感という子が問題行動や周りとのトラブルを起こしている。客観的視点を意識させる指導を続けたい。
- (4)教室からの飛び出しでたびたびご迷惑をおかけして申し訳なく思います。毎日の支援体制本当にありがたいです。教室で落ち着ける時間を増やしていきたいと思います。
- (4) 学年部を中心として、問題行動への対応ができていたので、ありがたかった。
- 体育館での学習や水泳学習のとき、上履きやスリッパが並んでいない学級が多かった。靴箱以外のところでもそろえることを意識できるとよい。
- アンケートの結果や、日記の内容、字形、休み時間のすごし方、保護者からの連絡などに気を配るようになっている。対応に明け暮れる自分自身の心身の状態にも気をつけるようになっている。困り感のみられる児童の話をよく聞くようになっているが、もっと時間が欲しい。
- 困り感のある児童に対して、支援員の先生方と担任で、よく話をして共通実践をすることができた。また、特別支援学級の先生方にも相談することができたので、担任が一人で抱え込むことがなかったので良かった。
- (1)声をかけているが、なかなか改善していないようにみえる。
- 学年で気になる児童の情報を共有し、支援体制を整えることで、担任の負担が少し軽減されたのではないかと思うので、今後も学校全体で支援を必要と思われる児童については、共有する時間を持ってほしい。
- 靴箱、いす、机が揃ってきた。
- (1) その都度、声掛けや指導を行っているがあいさつなどにはかなり課題があると感じている。  
(2) 担任の先生方と児童の活動のようすや普段のようすなどを共有しながら児童理解に努めている。  
(4) 実践している。(5) 図っている。”

#### 4 健やかな体の育成

- 4月～6月の傷病発生件数 ( )内は令和3年度  
ケガ 528件(574件) 内科的傷病 199件(170件)  
日本スポーツ振興センターにかかる傷病発生件数 7件(14件)  
医療機関へかかる傷病が昨年度と比較して半数に減少 先生方のご指導のおかげと感謝します。なるべくゼロを目指して取り組みたいと思いますので継続したご指導お願いします。”
- なわとび検定の達成回数を変更したことで、楽しみながら検定へ行くことができています。
- マスクをかける生活に慣れてしまい、個人ではずす習慣がなく、校庭へ行く際には声掛けが必要であった。
- なわとび運動の取り組みは、運動委員会がリードしてくれて、良い方向で取り組んでいると思います。少し学年の温度差があるようにも思われます。絶対になわとびは総合的な体力が着く取組なので、2学期以降も全校で取り組めたらよいと思います。
- (1)なわとびの教科体育での取り組みは水泳が始まってからできていないので、2学期から本格的に取り組みたい。(2)マスクの着脱の判断に迷うことが増えた。
- ながなわ運動に、6年生が朝から取り組んでいる。他の学年にも広がればよいと思う。
- なわとび検定で、意識は高まった。なわとびカードを、普段から活用できるようにさせたい。
- (3) 実際に交通事故が起きてしまったことで、通学路を守るなどきまりを守る意識は高まった。この気持ちを継続させる指導をしていきたい。
- なわとび検定をきっかけにして、一校一運動である「なわとび」に子供たちが意欲的に取り組んでいるように思える。ただ、まだなわとび検定への参加のみの子供が多いので、休み時間等にもなわとび

運動に取り組む環境や雰囲気を作り出していきたい。

- 今年度は毎月なわとび検定があり、子どもたちが意欲的に取り組む様子が見られた。
- なわとびをもっと取り組みたいが、カリキュラムや、児童にもやりたい遊びがあるため、一貫しては難しい。体育の初めに毎回5分は時間を取るなど、今後工夫したいと考えている。
- (4) 給食委員会の食育放送がとてもよかった。
- (1) 運動委員会の取り組みもあり、なわとび週間は子どもがなわとびに取り組む様子もよく見られた。
- 給食の偏食に対する指導を進めている。
- (2) 徹底している。(3) 折に触れ話をし、危機意識の高揚を図っている。(4) 努めている。

## 5 教職員の資質向上

- 班ごとの研修が充実しているように感じる。
- 毎日16:30以降は、授業準備をする時間が確保されているので、とても良い。この時間が5分でも増えると、より業務改善が進むと思う。
- 世間の目の厳しさを認識し、言動に注意している。公務員の事故や事件が報道されている度、気を引き締め続ける。
- 指導に時間がかかる児童の席を前にしてできるだけ理解が深めるようにしている。
- (1) 行われている。(2) 意欲的に取り組んでいる。(3) 常に意識し、努めていると自信を持って言える。(4) 努めている。

## 6 環境の整備・充実

- 一人一鉢や学級園の世話を意識して水かけする姿が見られた。
- 学級園の世話を当番制にして、全員で取り組めないだろうか。
- 「自然や動植物愛護、生命尊重の意識高揚を図る指導を行っているか。」という文言が評価を下げる原因にもなっているのでは？
- 苗の準備をしていただきありがとうございました。大変助かっています。
- 片づけが苦手な児童の対処に日々明け暮れている。あきらめないようにしている。
- 高学年の児童がボランティアで、校内の清掃をしてくれているので、本当に有難いです。清掃が3日しかないので、学級では、短時間でしっかりできるように指導することと帰りの会の1分間でもゴミ拾い等をして、室内を整えてから下校させることを心がけている。
- 一人一鉢(アサガオ)・学級園・ザリガニの飼育と観察などを通して、動植物を大切にする活動を進めている。
- (1) 自然や動物愛護、生命尊重の意識が高まるように授業での植物や動物のお世話などに取り組んでいる。
- (2) 整然とした教室で学習ができるように、整理整頓に努めたり、設営の工夫を日々行っている。
- 「残り姿を美しく」を意識させ、教室を離れる時の机周りの片づけを呼びかけた。清掃時は、無言作業を呼びかけたがなかなか徹底されない。

## 7 三者連携の充実

- 学年テーマはPTAで情報交換の場が持てた。もっとPTAの中でいろんなことを保護者同士の情報交換ができるPTAにしていきたい。
- 気になることはそのままにせず、保護者と報連相を取るようにしている。また、期成会やおやじの会の方々への挨拶・お世話になった際のお礼を忘れないようにしたい。
- (1) 励行している。

## 8 その他

- ・朝のボランティア活動に感謝します。安全指導の行事で、先生方の協力に感謝します。
- ・生徒指導面で指導が必要な場面があった。児童との確認をしている際、鳥越先生・山下先生（個人名を出してすみません）クラスに入って指導して下さった。とてもありがたかった。
- ・保護者との話し合いでは、生徒指導の中村先生と一緒に同席して下さり本当にありがたかった。心強かったです。学年部では大変お世話になりました。
- ・ゴミの分別について…教室にあるゴミ箱は燃やせるごみ用のみ。プラと燃やせるごみ用両方あった方が、子どもの意識づけになる。遅くなった児童は牛乳パックは洗ってゴミ箱に捨てる、というのも分別の意識が高まらない。飲み残しは手洗い場にこっそり流すというのも？大食管に入れてはいけないのか？
- ・運動会…7時集合、その分早く退庁と揃えてもらってよかった。”
- ・タブレットの活用が手探りな状態であり、不安である。これからは必要なツールなのだと分かるが、教師も児童もタブレットを使えないとだめなように感じてしまうと、苦手意識が生まれ、教科の本質や目的から外れてしまうのではないだろうか。全ての人に必要だということなら、全ての人をサポートする思いやりのある体制や雰囲気が必要なのではないか。
- ・1年生は最後の2週が4時間授業になったが、1年生の1学期は覚えることも多く、授業もぎりぎりまでかかり、復習の時間があまりとれなかった。1学期だけでも5時間にした方がよいのではないかと思った。
- ・通知表の評価規準と評価基準についてさらに学年部で共通理解を進めていきたい。

### R 4 小中連携重点実践事項（学習指導）確かな学力を身につけさせるための手立て

#### 〈〇2分前着席・1分前黙想 〇学習の場での振り返りの充実 〇ICT推進～タイピングの習慣化～〉

- ・チャイムと同時に黙想する習慣が身についてきた。今後、時計を意識しながら2分前着席・黙想へとつなげていきたい。
- ・1分間黙想は学期後半から取り組みました。児童の気持ちの切り替えのためにも有効な方法だと感じています。
- ・自主的な黙想はまだ不十分。担任が声をかけないと1分前黙想にならない。
- ・学習の場での振り返りをする時間確保ができていない。
- ・2分前着席が本当に必要であるか。疑問に感じます。（小中連携事項なので、本校だけで変更するのは難しいとは思いますが）
- ・移動教室等で平気で遅れてくるクラスも多い。中学校では教科担任制であり、このように遅れてくることは許されない。チャイムであわてるのではなく、時間を見て早めに行動する指導を行い、授業の時間をしっかりと小学生のうちに身につけられるように今後も指導を徹底していく必要がある。

### R 4 小中連携重点実践事項（生活指導）児童・生徒理解及び家庭との連携

#### 〈〇情報端末の使い方についてルール作り 〇交通ルールを守る安全指導の充実 〇あいさつ運動の充実〉

- ・下校時と下校時刻については、日々声掛け指導が必要であった。
- ・最近、タブレットの取り扱いが乱雑になっている児童をたまに見かけます。夏休みの持ち帰り前に再度、使い方(取り扱いも含めた)について指導する必要があると考えます。
- ・あいさつの意識をもっと高めたい。
- ・登下校に慣れてきて、緊張感が薄れている気がしますので、定期的に指導したいと思います。
- ・あいさつをもう少し進められないだろうか。校内での会釈、横断歩道を渡った後のお辞儀など本校はまだできると思います。

- ・中村先生・前田先生，毎朝の安全指導・挨拶指導大変お疲れ様でした。生活委員会の子どもたちも毎朝よく頑張ったと思います。

#### **R 4 小中連携重点実践事項（特別支援教育）つながりのある特別支援教育の取組**

##### **〈〇個別の指導計画，支援計画の確実なファイリング 〇合同研修会の計画と実施〉**

- ・個人ファイルがあって，引き継ぎやすいので，資料を確実にファイリングしたい。
- ・引継ぎ資料としても十分な個別の指導計画及び反省が必要。児童の実態が，引き継いだ内容では全く伝わらないものであり，対応が遅れてしまったように思う。



## R 4 年度 1 学期 重点努力事項(案)

学 習 指 導	そ の 他
<b>1 年</b> ○ 読み 書き 計算の反復練習 ◎ 話す人の顔を見て、落ち着いて最後まで話を聞く。	○ 家庭との連携（忘れ物〇をめざす） ○ 鉛筆の持ち方指導 ◎ 廊下歩行の指導の徹底 ◎ 担任以外の先生方にも進んであいさつ
<b>2 年</b> ○ 読み 書き 計算（かけ算）の反復練習をし、定着を図る。 ○ 1分前着席，チャイムで黙想	○ 一校一運動 ○ 忘れ物 〇 ○ あいさつ・返事・丁寧な言葉遣い ◎ 仲よくする。
<b>3 年</b> ○ 読み 書き 計算の反復練習をし、定着を図る。 ○ 授業が落ち着いてはじめられるような取組を行う。（2分前着席，1分前黙想）	○ 忘れ物，落とし物をなくすための取組 ○ 姿勢，鉛筆の持ち方の指導
<b>4 年</b> ○ 読み 書き 計算の反復練習をし、定着を図る。 ○ 課題に粘り強く取り組む。 ◎ 落ち着いて，相手の話を最後までしっかり聞く。	○ あいさつ，返礼を意識させる。 ○ 廊下・階段での姿（歩行・移動の時） ◎ 忘れ物をなくす取組
<b>5 年</b> ○ 5分前行動 ○ 2分前着席（1分前黙想） ○ 話し合い活動の充実	○ コミュニケーションを意識したあいさつと返礼 ○ 委員会やボランティア活動への取組
<b>6 年</b> ○ 2分前着席 1分前黙想の徹底 ○ 考えを高め合える話し合い活動 ○ 話を聞く態度の徹底 ○ 粘り強く最後まで課題に取り組む態度の育成	○ 上学年で SNS，情報端末機器の取り扱いについて共通指導をする。 ○ あいさつ，はきもの，廊下歩行の徹底 ○ ルールを守る意識を高める指導 ○ 学年全体で言葉かけなどを行い，生活指導の充実を図る。

### ＜アクションプラン・共通実践事項＞

教 師	しめきりを守ろう
	退庁時の声かけ
児 童	さわやかなあいさつ（あいさつ先手運動）
	けがの防止